

令和5年度 外郭団体 評価シート

団体名	公益財団法人静岡市スポーツ協会	所管課	スポーツ振興課
設立目的	静岡市におけるスポーツの普及・振興を図り、スポーツ精神を培い、市民の健康・体力づくりを推進し、もって健康で豊かな市民生活の育成に寄与することを目的とする。		
団体の役割	<p>1. ライフスタイルに応じたスポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年代、性別、障がいの有無などに関わらず、市民誰もがスポーツを楽しむことができるよう、スポーツイベントや教室等を開催すること。</li> </ul> <p>2. スポーツを支えるための人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップアスリートの育成や、スポーツ指導者の養成・資質向上を支援すること。</li> <li>・協会に加盟する競技団体と連携し、スポーツ振興に関する団体の事業等を支援すること。</li> </ul> <p>3. スポーツを支えるための場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理するスポーツ施設において、市民が利用しやすいスポーツの場を提供すること。（日常的な修繕の実施、利用者サービスの向上）</li> </ul>		

《経営計画書 取組状況》

1 団体の取組状況

(1) 団体における取組と結果

施策	評価指標	目標値	実績	備考
市民に提供する価値 ① スポーツイベント、教室等開催事業	イベントの参加者数	4,900人	5,994人	
	教室等の参加者数	271,040人	211,630人	
	教室等の参加者満足度	94.0%	99.1%	
	スポーツ指導者派遣件数	30件	19件	放課後子ども教室への派遣は含まない。
	ウェブサイト(イベント、教室)アクセス数	367,500PV	380,220PV	
	YouTubeチャンネル登録者数 /Twitterフォロワー数	800人 /370人	1,361人 /460人	
	協会の実施事業に対する認知度	34.5%	25.6%	
1 団体意見	<p>施策全体としては、8つの指標のうち、5つが目標達成、2つが達成率70%以上となり、スポーツイベントと教室等の開催による「ライフスタイルに応じたスポーツの推進」を図ることが概ねできたと考える。このうち、教室等の参加者満足度は99.1%(達成率105.4%)の大変高い評価を得ている。ニーズに合ったプログラムの提供と質の高い指導が高評価に繋がっていると考えている。</p> <p>一方、スポーツ教室等の参加者数については、コロナ感染症の5類移行もあり参加者増加を期待していたが、達成率は78.1%であった。市民アンケートでも「するスポーツ」が好きであるという回答が年々減っているため、身体を動かすことの楽しさやメリットを積極的にアピールしていきたい。</p> <p>また、スポーツ指導者派遣件数は達成率63.3%であったが、これは子育て団体や生涯学習施設などからの依頼が減少したことによるものである。</p> <p>その他、事業に対する認知度は、他分野との連携による事業実施や、SNSを活用した広報を強化することで、今後目標達成を目指していく。</p>			

	関係課意見	概ね目標を達成できており、十分な取組を実施していると評価できる。特に教室等の参加者満足度は目標を大きく上回っており、質の高い事業を安定して実施していることがわかる。ウェブサイトのアクセス数、SNSの登録者数も目標達成しており、積極的に情報発信に努めていることも評価できる。ただし、事業の認知度や教室等の参加者数につながっていないため、分析が必要である。運動・スポーツを行っていない人へのアプローチも含め、目標達成に向けた今後の取組に期待する。			
2	項目	評価指標	目標値	実績	備考
	市民に提供する価値 ② トップアスリート育成支援及びスポーツ指導者養成事業	スポーツ振興(強化・普及)に関する事業への支援件数	40件	37件	うち新規2件 申請後1件中止
		ジュニア層の育成に関する事業への支援件数	12件	10件	申請後2件中止
		指導者の養成等に係る事業の受講者数及び受講者満足度	65人 /88.0%	77人 /97.9%	
団体意見	<p>施策全体として、加盟団体が実施する事業への支援件数の指標では達成率約90%、指導者養成事業の指標では目標を達成し、「スポーツを支えるための人づくり」が推進できたと考える。</p> <p>このうち、指導者養成事業では、受講者数と満足度の両方で達成率110%以上を得ることができた。今後も指導者が望む情報を教授する講師選定を行い、あらゆる競技の指導者へ事業を広報していく。</p> <p>一方、加盟団体による事業見直し(縮小・統合)があり、スポーツ振興に関する事業への支援申請数が前年度から5件減少した。また、ジュニア層育成事業への支援申請は12件あったが、大会との日程調整がつかなかったなどの理由により2件が中止となった。</p>				
関係課意見	加盟団体実施事業への支援については、団体の都合による中止を除けば、ほぼ目標達成できている。指導者養成事業については、受講者数・満足度ともに目標を上回っており、受講者の需要に合った事業を実施できていると評価できる。加盟団体への支援及び指導者の養成は協会本来の役割に関わる取組であるため、今後も引き続き新規団体への呼びかけを行ってほしい。				

項目	評価指標	目標値	実績	備考
市民に提供する価値 ③スポーツ施設における利用者サービス向上事業	施設利用者数（単位：人）	1,302,780	1,023,402	
	施設稼働率 体育館グループ アリーナ (7)	88.9%	88.5%	北部アリーナ空調不良
	西ヶ谷総合運動場（陸・プ・野・テ）	70.0%	69.1%	
	清水総合運動場（体・陸・武）	83.0%	80.0%	
	利用者満足度	95.5%	97.6%	
	管理者の瑕疵による事故発生件数	0件	1件	
	ウェブサイト(スポーツ施設)アクセス数	645,000PV	669,257PV	
	市の他の施策に貢献する事業の数	2件	2件	①学校プール向上研究 ②放課後子ども教室
	R&R屋外スペースのイベントによる利用件数	25件	26件	
3 団体意見	<p>施策全体として、9つの指標のうち、7つにおいて95%以上の達成率となり、スポーツ施設における利用者サービス向上による「スポーツを支えるための場づくり」が推進できたと考える。</p> <p>このうち、利用者満足度は97.6%（達成率102.2%）の大変高い評価を得ている。対応可能なものは迅速に対応し、ストレスなく施設を利用してもらえよう、今後も質の高い管理運営に努める。</p> <p>一方、施設利用者数は、指定管理計画書（コロナ影響無）の目標値を設定していることもあり、達成率は78.6%となった。土日の大会参加者数が減っていることや、全館貸切の興行が増えたことによる一般利用者数の減少が主な理由である。また、総合運動場、特に陸上競技場の利用者減少が目立った。熱中症警戒アラートが5年度は29回発表されたことも一因と考えている。（R4は7回）</p> <p>その他、期間中の事故については、体育館の敷地内で発生した車の物損事故である。事故の概要は、開館時間中は常時出入り可能な駐車場出入口において、何者かによってチェーンを張られてしまい、それに気づかず利用者が進入したことによるもので、事故後はチェーンを自由に張ることができないよう対策を講じている。</p>			
関係課意見	<p>施設利用者数は目標未達成ではあるが、昨年度よりも増加しており、コロナ前の数値に近づいている。全館貸切の興行増加や温暖化による熱中症警戒アラートの発表日数増加など、外的要因による一定の減はやむを得ないと思われる。一方、施設の老朽化が進む中でも利用者満足度は高い水準を保っており、良質な管理運営がなされていることが伺える。また、事故については、予測が難しい事案であるが、再発防止のための対策を速やかに講じている。他施設で同様の事故が起きないように注意してほしい。</p>			

項目	評価指標	目標値	実績	備考
4 経営面における 数値目標	利用料金収入額（内部取引を除く）	144,551千円	150,729千円	プロスポーツ利用の増加 大会開催等施設利用数の回復
	全事業受講料収入額	106,568千円	108,144千円	教室受講料改定 教室受講生数の回復
	委託料支出額	272,932千円	268,428千円	複数年契約による抑制 施設休場等に伴う変更契約
	賛助会費収入額	836,000円	882,000円	募集案内郵送先の見直し
団体意見	全ての指標で95%以上の達成率となった。 利用料金はプロスポーツ利用の増加、事業受講料は受講料の改定などにより目標を達成した。また、委託料支出額も複数年契約による抑制を図り目標を達成した。			
関係課意見	協会全体で継続的に経営改善に取り組んでおり、一つ一つの地道な取組の結果が目標達成につながっている。今後も引き続き経営改善に向けた取組の継続を期待する。			

## （２）取組全体の総括

外郭団体
<p>指定管理施設におけるスポーツ教室は、ライフスタイルに応じたスポーツの推進を図るための基幹事業であり、年間延べ約21万人（R5）の市民の参加を得ている。主に昼間教室は職員インストラクター、夜間教室は加盟団体所属の指導者が指導にあたり、専門的な指導を安価で、安心して受講できるよう取り組んでいる。これらプログラムを市民に継続的に提供し続けることが、設立目的に沿った協会の役割であり存在意義だと考える。</p> <p>また、トップアスリートの育成やスポーツ指導者の養成は、スポーツ協会の本体事業として、加盟団体とともに推進している。加盟団体による事業見直しなどもあったが、世界へはばたくアスリートを静岡市から多く輩出できるよう、今後も加盟団体と連携していく。</p> <p>スポーツ施設利用状況においては、令和5年5月のコロナ感染症5類移行後、利用者や受講者数の一定の回復は見られるが、各競技大会の参加者数が減少していたり、コロナ禍により継続性が途切れた教室受講生が戻って来ないなど、コロナ禍前の数値に戻すことは容易ではないと考えている。そのような中、夜間のダンスエクササイズ教室や休日のスポーツ体験イベントなど新たな事業を実施し、これまで施設を利用したことがない層の利用者獲得とスポーツ推進を図っている。</p>
静岡市
<p>取組事業全体としては、ほとんどの取組で目標達成又はほぼ達成しており、安定的に事業を実施している。</p> <p>また、既存の事業を継続するだけでなく、市民のニーズを把握して新たな事業を展開したり、情報発信を積極的に行っている点は評価できる。今後も協会の役割を意識しつつ、既存事業の見直しと新たな取組の検討を行ってほしい。</p>

## 2 団体の財務・人員の状況

### (1) 収支状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	増減理由等補足事項
収入	事業収入	1,137,928	1,091,976	
	事業外収入	0	0	
	その他	0	0	
	合計	1,137,928	1,091,976	
支出	事業支出	1,136,529	1,095,871	
	事業外支出	0	0	
	その他	0	0	
	合計	1,136,529	1,095,871	
収支差		1,399	-3,895	

### (2) 正味財産（純資産）の状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	増減理由等補足事項
収入	経常収益	1,122,274	1,076,239	減理由：利用料金と指定事業の指定管理料の補填精算が無くなったため
	経常外収益	0	0	
	その他	0	0	
	合計	1,122,274	1,076,239	
支出	経常費用	1,149,475	1,107,144	減理由：光熱費の高騰への国の施策や電力会社の割引などがあったため
	経常外費用	0	416	
	その他	0	0	
	合計	1,149,475	1,107,560	
収支差		-27,201	-31,321	

### (3) 資産の状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	備考（増減理由・内訳等）
資産	固定資産	440,198	415,330	減理由：その他投資有価証券の満期償還
	流動資産	249,616	263,541	
	合計	689,814	678,871	
負債	固定負債	27,087	28,014	
	流動負債	155,828	175,279	増理由：指定管理料の精算（未払金）
	合計	182,915	203,293	
正味財産	基本財産／資本金	368,163	368,163	
	剰余金等	138,736	107,415	基本財産以外の正味財産
	合計	506,899	475,578	

(4) 職員数の推移

年度	種別	職員種別			合計	増減理由等
		市OB	プロパー	その他		
R4	常勤	14	5	76	95	
	非常勤	0	0	16	16	
	臨時	0	0	47	47	
	合計	14	5	139	158	
R5	常勤	13	5	80	98	事業実施の安定化を図るため、非常勤インストラクター6名を常勤インストラクターへ登用
	非常勤	0	0	8	8	
	臨時	0	0	49	49	
	合計	13	5	137	155	
R6	常勤	13	4	76	93	職員適正化計画による減員に加え、インストラクター3名欠員状態のため
	非常勤	0	0	5	5	
	臨時	0	0	49	49	
	合計	13	4	130	147	

(5) 財政・人員体制の現状分析・課題

収支状況(正味財産)は令和4年度に続き赤字決算となった。5年度は利用料金収入や事業収入におけるコロナ影響の精算が無いことから3・4年度を大幅に上回る赤字になることが予想された。5年度はより一層の経営改善に取り組み、施設利用料や教室受講料で予想以上の収入を獲得し、また、人件費や委託費、消耗品費などの支出縮減によって収支状況は予想よりも改善されたが、赤字額は4年度を上回る約3,130万円となった。

3年連続の赤字にはいくつかの要因があるが、その一つとして第4期指定管理期間(R3-7)における人件費積算の配置人数と当協会の実配置人数に差異が生じていたり、利用料金や教室受講料の積算(収入見込み)がコロナ禍前の水準に設定されたりするなど、適正な指定管理料が得られていないと分析している。

人員体制については、安心・安全で効率的な配置となるよう事務局及び各施設の配置人員(職員)の業務内容及び業務量、それらに係る人工数換算による分析を行った上で、職員適正化計画を策定した。しかしながら、市積算人数までは安全な運営のため削減できない。

(6) 分析結果や課題を踏まえた団体における財政・人員体制の見通しと今後の取組

協会全体で「収入増・支出減」を合言葉に、職員から提案された新規事業の実施や委託契約方法の見直しなどを行っており、今後も継続して「収入増・支出減」に取り組む。

指定管理料については、決算分析等の資料を市に提示し説明を重ね、適正な指定管理料の積算を求めていく。

人件費の抑制については、職員適正化計画の具体的な取り組みとして、6年度には常勤役員退任に伴う補充選任をおこなわず、一時的に常勤役員1名を減じた。また、各施設に配置のインストラクターの効率的運用するためのグループ制を6年度に試行導入し、7年度の本格実施を目指す。

### 3 全体総括・評価

#### 外郭団体

第2期静岡市スポーツ推進計画の施策を踏まえ、個々の事業を着実に実行し、静岡市のパートナーとして「静岡型スポーツ・イン・ライフ」の推進に努めている。令和4年度の協会名称変更以降、広報活動の強化と他団体と連携した事業を推進している。  
教育委員会の「学校プール向上研究」には、施設利用とプールインストラクターの指導提供について可能な限り協力し、学校体育との連携を進める。また、高齢者のスポーツ推進に協力するため、ねんりんピック静岡市実行委員会事務局の業務を6年度から担い、予選会の実施やねんりんピックの派遣などの支援を行う。  
経営面については人員配置の適正化への取り組みを推進し、また、8年度からの次期指定管理に向けて市との協議を進めていく。

#### 静岡市

第2期スポーツ推進計画および外郭団体方針書に沿った取組が実施されており、市のパートナーとして堅実な運営が行われている。教育委員会や福祉部局など、スポーツ施策以外の市の施策に協力的な姿勢についても評価できる。  
経営面においては赤字が続いているが、原因分析や経営改善の取組、人員配置計画の見直しなど、積極的に経営改善に取り組んでいる姿勢がみられる。

### 4 市への要望・意見（外郭団体記載）

令和6年度において、諸物価高騰に伴い増加している支出について、指定管理料精算を実施していただきたい。

### 5 外郭団体への要望・意見（所管課記載）

令和6年度に作成された職員適正化計画では、業務量とのバランスを考慮しつつも、大胆な人員の見直しがなされている。計画に沿って人員配置の適正化を進めてほしい。  
学校部活動改革において、市及び部活動に関連する競技団体と情報を共有し、協会の強みが活かせる部分においては協力してもらいたい。